

株式会社ネプロジャパン

2010年3月期(第19期)
第2四半期決算説明会資料
(JASDAQ:9421)

2009年11月25日

代表取締役社長 金井 孟

目次

INDEX

I. 2010年3月期上期決算ハイライト

- 1. 事業環境Page3
- 2. 連結業績概要Page4
- 3. セグメント業績概要Page6

II. 2010年3月期通期業績見通し及び施策

- 1. 連結業績見通しPage12
- 2. 施策Page13

I . 2010年3月期上期決算ハイライト

1. 事業環境

■携帯電話販売市場(移動体通信事業)

<Positive>

- ・携帯電話の修理、メンテナンス等の需要が増加
- ・顧客サービス向上に関連する手数料が増加

<Negative>

- ・端末の高価格化、買換えサイクルの長期化による買い替え需要の低下

■インターネット広告市場(ネットビジネス事業)

<Positive>

- ・堅調なモバイルコンテンツ市場
- ・巣籠もり需要の増加

<Negative>

- ・広告市場の伸びが鈍化
- ・メディア格差の拡大

■IP/セキュリティ市場(プロダクトソリューション事業)

<Positive>

- ・携帯電話と固定電話の融合(FMC)
- ・通信料金の圧縮ニーズ

<Negative>

- ・通信インフラ投資の削減

2. 連結業績概要

(1) 業績サマリー

(単位:百万円)

科目	09年3月期上期		10年3月期上期			
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	前年同期比	
					増減	比率 (%)
売上高	8,332	100.0	6,331	100.0	△2,001	76.0
売上総利益	2,252	27.0	1,940	30.7	△312	86.1
営業利益	63	0.8	147	2.3	84	234.7
経常利益	18	0.2	103	1.6	85	574.7
当期純利益	△29	—	△90	—	△61	—

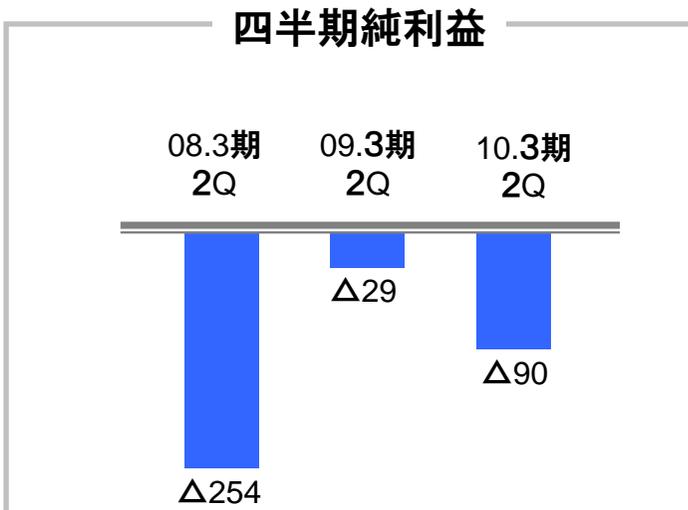
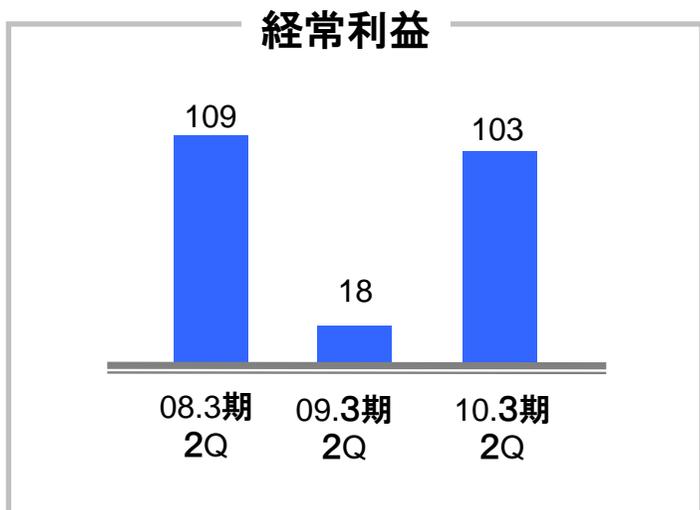
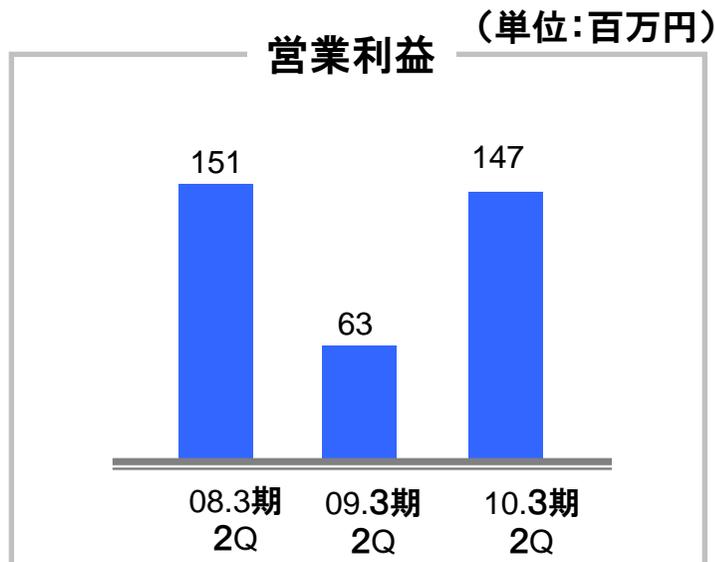
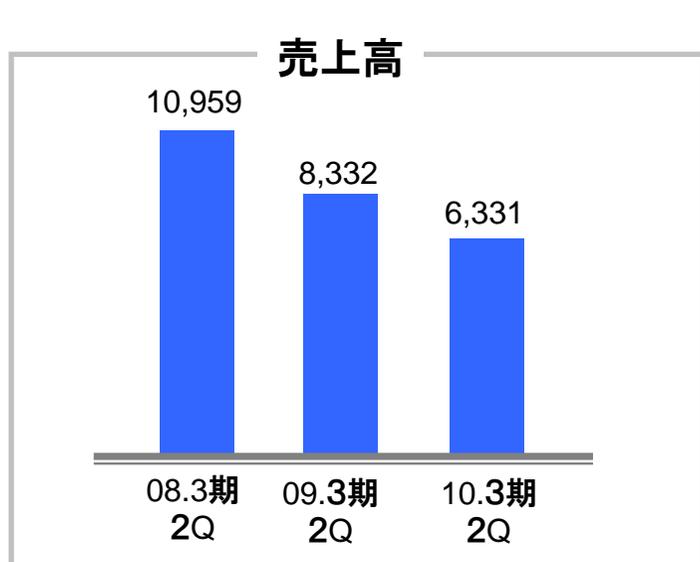
主な増減要因

- ・移動体事業 1,649百万円減
- ・ネットビジネス 424百万円減

- ・移動体通信事業 126百万円増

- ・貸倒引当金繰入額140百万増

(2)業績の推移(連結)



3. セグメント業績概要

(1) 業績概要

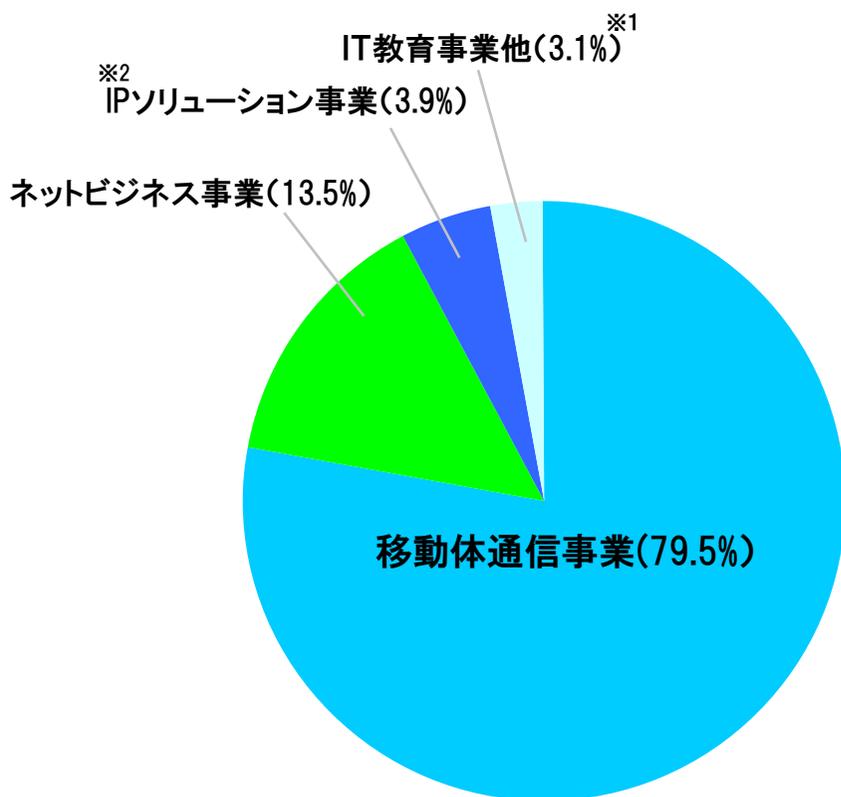
- ◆移動体通信は減収(前年同期比75.8%)となったものの営業利益は前年同期比132.4%の増加
- ◆ネットビジネスは減益、プロダクトソリューション、IT教育は営業損失の拡大

(単位:百万円)

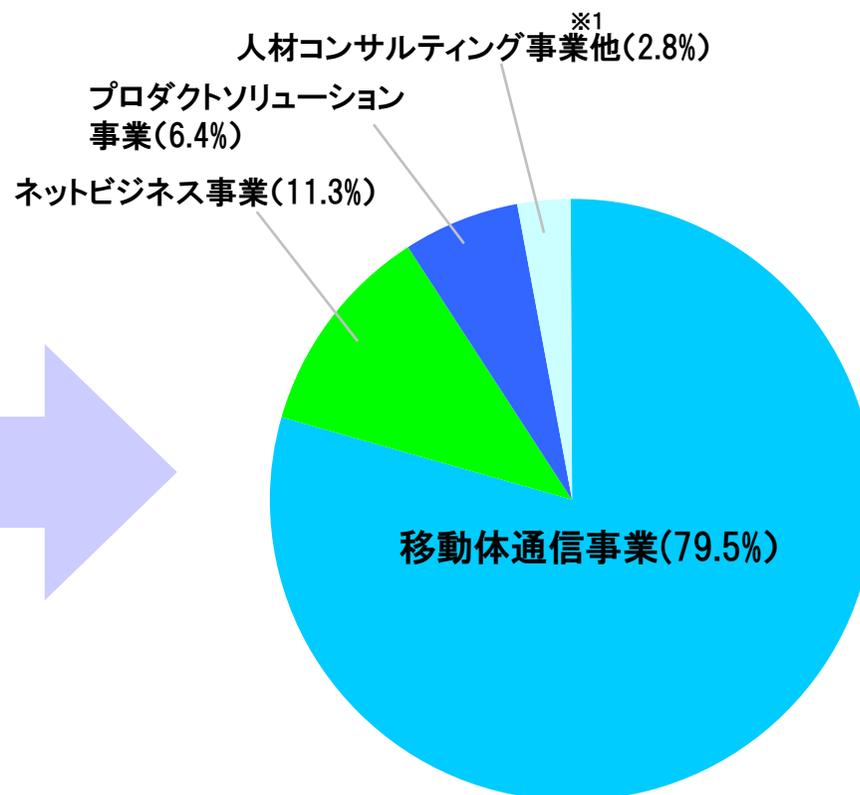
	売上高			営業利益		
	09.3期 上期	10.3期 上期	前期比(%)	09.3期 上期	10.3期 上期	前期比(%)
移動体通信事業	6,820	5,171	75.8	390	517	132.4
ネットビジネス事業	1,156	732	63.3	72	59	83.0
プロダクトソリューション事業	331	417	126.0	△51	△95	—
IT教育事業	53	29	55.4	△17	△46	—
人材コンサルティング事業	199	150	75.1	21	27	126.5
その他事業	14	3	26.1	△28	△25	—

(2) 売上構成

◆セグメント売上高比率は前年同期比とほぼ同水準で推移



09.3期上期



10.3期上期

※1 人材コンサルティング事業、IT教育事業、その他事業
※2 IPソリューション事業はプロダクトソリューション事業に名称変更しております。

(3)移動体通信事業

10.3期上期トピックス



販売台数減少による減収も利益率の上昇により増益

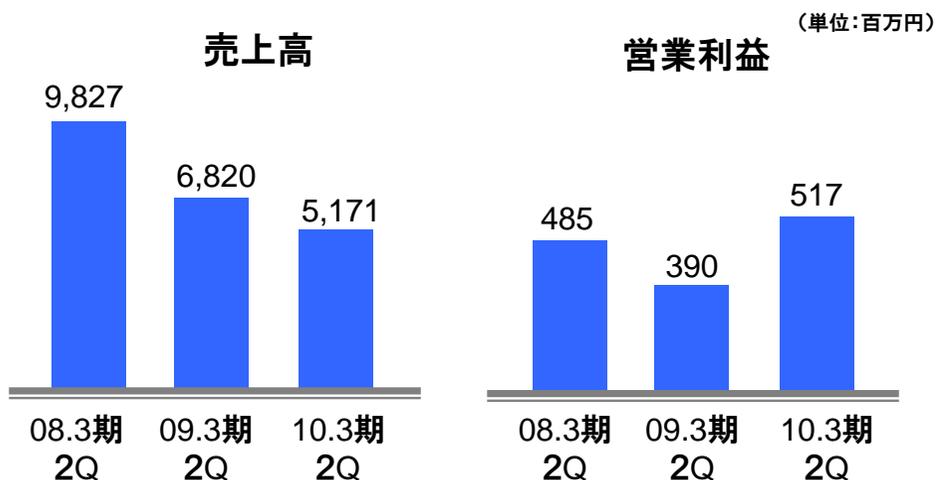
- ・販売台数は前年同期比30.2%減、売上高は前年同期比△1,649百万円減
- ・ロー・コスト・オペレーションの効果や手数料体系変更の結果、営業利益は前期比126百万円増



併売店の閉鎖

- ・6月「ダ・カーポ下館店」閉鎖

売上高と営業利益の推移



利益率の対前期比較

	09.3期上期	10.3期上期
売上総利益率	21.8%	27.0%
営業利益率	5.7%	10.0%

(4) ネットビジネス事業

10.3期上期トピックス



広告取扱高減少により減収減益

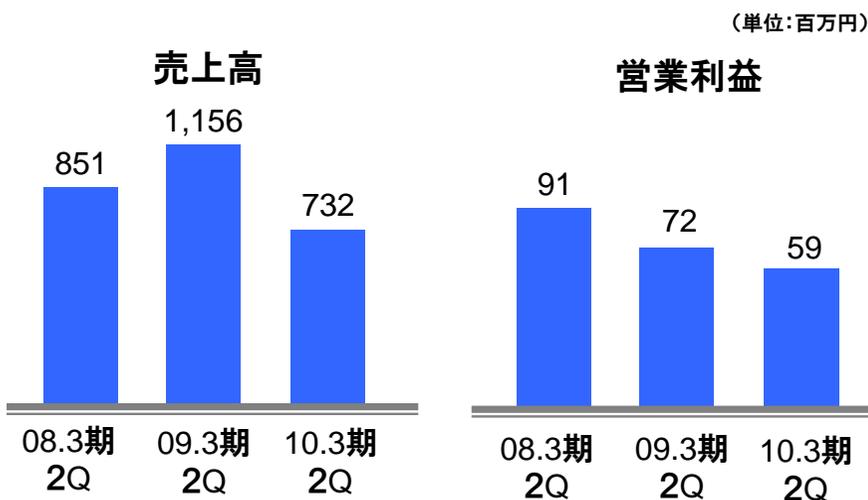
・売上高は前年同期比424百万円減、営業利益は前年同期比12百万円減



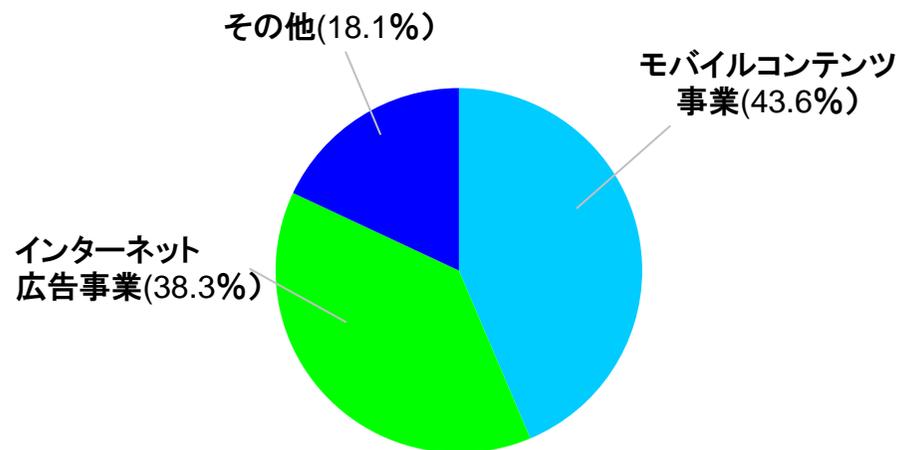
2009年4月24日韓国KOSDAQ市場上場

・韓国企業とのリレーションを強化、収益化につなげる

売上高と営業利益の推移



事業構成比(売上高ベース)



(5)その他の事業

プロダクトソリューション事業 上期 売上高 417百万円 営業利益 △95百万円

10.3期上期トピックス



増収も営業損失は拡大

- ・IPフォンの新商材販売が伸び売上高は、前年同期比85百万円増
- ・無形固定資産の償却負担増により、営業損失は前年同期比44百万円増

IT教育事業

上期 売上高 29百万円 営業利益 △46百万円

10.3期上期トピックス



減収減益

- ・IT検定事業の立ち遅れにより減収減益

人材コンサルティング事業

上期 売上高 150百万円 営業利益 27百万円

10.3期上期トピックス



内部売上減少も、利益率向上により増益

Ⅱ. 通期業績見通し及び施策

1. 連結業績見通し

2010年3月期通期業績予想

(単位:百万円)

科目	10.3期上期実績	10.3期通期予想	09.3期実績	前期比(%)
売上高	6,331	15,500	16,403	94.5
営業利益	147	570	607	93.9
経常利益	103	470	545	86.2
当期純利益	△90	150	3	—

2. 施策

(1) 移動体通信事業

10.3月期の方針

収益モデルのシフト

-  **販売手数料収入から付加価値サービス収入へのシフト**
 - ・修理メンテナンス等の付加サービスや親和性の高い他商材の提供による収益拡大
-  **法人営業力の強化**
 - ・グループ内顧客基盤、ネットワークの掘り起こし
-  **顧客満足に応える人材の育成**
 - ・継続的な研修による高い接客スキルの維持

コスト構造変革の継続的な推進

-  **同業他社に負けないロー・コスト・オペレーション店舗運営**
 - ・徹底したムダ取りと人材再配置の実施

10.3月期の方針

事業基盤の強化

インターネット広告事業

-  **新規メディアの立ち上げ**
 - ・コンテンツビジネスで蓄積したノウハウを活用

コンテンツ事業

-  **既存コンテンツの利益率向上**
 - ・コンテンツ品質とサイト集客力の強化

韓国事業

-  **韓国の技術・サービス輸入**
 - ・韓国シメンティクス社が開発した次世代検索エンジン「Qrobo」の国内商用化(2010年1月よりβサービス開始)



FanSiteManager



当社主要コンテンツ

10.3月期の方針

機器販売による売り切りビジネスから、安定的なストックビジネスへの転換

IP関連事業

- ② 機器の開発からストック型ソリューションビジネスへの転換(連結子会社モバイル・テクニカ)
 - ・受託開発、請負案件の獲得
- ② 代理店網の活用によるNTTフレッツ・ひかりと既存商材(VPN、ゲートウェイ等)のクロスセル
 - ・NTT東西との提携によるランニング収益型のビジネスを志向

セキュリティ関連事業

- ② セキュリティソリューション商材「データクレスス」の営業強化
 - ・Slerとの協業(NTTデータ、日立情報、富士電機ITソリューションなど)による、官公庁、地公体、教育機関へのアプローチ強化

(4)その他の事業

10.3月期の方針

IT教育事業

新検定試験事業の立上げ及びCIWの拡販

公益法人との共催による新IT検定事業の立上げ準備

- ・2011年3月期の新検定実施を目指す
- ・他の基礎力検定との相互乗り入れ

CIWの高等教育機関向け拡販

- ・詰め込み教育ではない能動的、継続的学習モデルの提供



人材コンサルティング事業

グループ外部顧客の取込み

グループ外顧客の取込み

- ・展開地域: 北関東、東京、神奈川
- ・展開方法: 人材紹介⇒完全成果報酬型求人サイト「451039.jp」を使ったマッチング件数のアップ



登録無料！完全成果報酬型求人サイト

補足資料

参考データ① 連結貸借対照表概要

(単位:百万円)

決算期		09.3期末		10.3期 第2四半期末	
			構成比 (%)		構成比 (%)
資産 の 部	流動資産	4,751	51.6	4,458	51.1
	現預金	749		773	
	受取手形及び 売掛金	2,221		1,883	
	商品及び製品等	1,211 ^{※1}		1,197 ^{※2}	
	その他	568		584	
	固定資産	4,449	48.4	4,272	48.9
	有形固定資産	459		411	
	無形固定資産	1,710		1,558	
	投資その他 資産	2,279		2,302	
	繰延資産	—	0.0	—	0.0
資産合計		9,200	100.0	8,731	100.0
負債 の 部	流動負債	4,418	48.0	4,276	49.0
	固定負債	2,130	23.2	1,766	20.2
	負債合計	6,549	71.2	6,043	69.2

決算期		09.3期末		10.3期 第2四半期末		
			構成比 (%)		構成比 (%)	
純 資 産 の 部	資本金	590	24.5	590	24.0	
	資本剰余金	343		343		
	利益剰余金	1,342		1,199		
	自己株式	△24		△35		
	株主資本	2,252		2,098		
	評価換算差額等	△51	—	△44	—	
	少数株主持分	450	4.9	634	7.3	
	純資産合計	2,651	28.8	2,687	30.8	
	負債・純資産合計		9,200	100.0	8,731	100.0

※1
内訳
商品及び製品 1,085
仕掛品 20
原材料及び貯蔵品 106

※2
内訳
商品及び製品 1,066
仕掛品 27
原材料及び貯蔵品 103

参考データ② 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	増減の主な要因
営業活動によるCF	486	74	<ul style="list-style-type: none"> ・減価償却費 423 ・売上債権減少 338 ・仕入債務減少 $\Delta 396$ ・法人税等の支払額等 $\Delta 323$
投資活動によるCF	$\Delta 825$	$\Delta 397$	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産取得支出 $\Delta 291$ ・貸付金支出 $\Delta 100$ ・差入保証金回収 65
財務活動によるCF	$\Delta 89$	346	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の増加 815 ・長期借入金返済支出 $\Delta 563$ ・少数株主からの払込 222
現金及び現金同等物の 期末残高	485	763	—

参考データ③ 月次携帯電話販売台数

(単位:台)

月	09年3月期 上期	10年3月期 上期	前期比(%)
4月	16,549	12,039	72.7
5月	13,345	9,168	68.7
6月	17,271	9,939	57.5
7月	15,321	10,773	70.3
8月	15,336	11,416	74.4
9月	12,423	9,618	77.4
累計	90,245	62,953	69.8

(09.3期通期販売台数:168,418台)

IR広報室 お問い合わせ窓口

TEL 03-6803-3976

FAX 03-6803-3971

Email ir@nepro.jp

URL <http://www.nepro.jp>

- ・当該資料におけるセグメント別売上高、営業利益のデータは、連結仕訳以前のものになります。
- ・当該資料における業績見通し等の将来に関する記述は、作成時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- ・当該資料は弊社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず目論見書をご覧頂いたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願い致します。